



237号

2019年

10月15日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

- 目次： 1：60分授業・4学期制についてのお知らせ 2~3：学長懇談会 新三役が学長に挨拶
4：質問及び要求書の回答について 5：旅日記 6：お知らせ

60分授業・4学期制，見直しへ



ついに、60分授業・4学期制が2021年度より見直されることになりました。現在の情報によると見直しの方向は以下のようになっています。

- 1コマの長さを現在の60分から50分に変更する。
- 4学期制は維持するが、1,2学期あるいは3,4学期にまたがった講義を認める。
- これまで1学期8週であったのを授業期間7週、試験期間1週とする。

2つ目の見直しを実現し学期またがりの講義とした場合、シラバスは学期ごとではなく二つの学期を通して一つ書けばよく、中間の成績評価を行う必要もありません。これまで無理やり2つの学期に内容を分けていたような講義を学期またがりにするとシラバスの負担、成績評価の負担が減ります。

3つ目の見直しを実現すると、1つの学期では7週授業1週テスト週間という形が明確になります。

9月末締め切りで各部局に意向調査が行われていました。問われている内容は大きく二つでした。

- 1) 学年暦をどうするか。具体的には、
 - 1学期と2学期の間、3学期と4学期の間に授業をしない期間を入れるかどうか、入れるとしたら何日入れるか。
 - 台風などで休講になった場合の補講日をどこにするか。
- 2) 2020年度に学期またがりで開講する講義の割合



2020年度より学期またがり授業が可能

正式な見直しは2021年度ですが、見直しを先取りして2020年度から学期またがりの授業を行うことが可能になっています。そのことをまだあまり周知していない部局もあるようですが、部局によっては既に積極的に学期またがり授業を活用しようとしているところもあります。本来は二学期またがりの講義内容だったものを4学期制にした際に無理やり一学期ごとの科目に分けたような場合は、学期またがりにするのが自然ですし、来年度から学期またがりに戻しても良いと思います。学期またがりにすることによりシラバス作成や成績評価などの負担も少しは軽減します。該当する講義を担当の方は是非学期またがり授業の実施をご検討ください。

また、一コマの時間も、自主的に50分にしてもよいという発言を大学執行部はしています。時間割上は2020年度は1コマ60分ですが、自主的に遅く始めたり早く終わったりすることは問題ないとのことでした。



まだ残る課題

今回の見直しで、授業時間が長すぎるという問題はある程度解消されると思われます。しかし、4学期制の形式が残るので、1学期と3学期の成績認定を2学期と4学期の授業と並行して行わなければならないという構造は変わっていません。これは1,2学期あるいは3,4学期に連続して授業を担当する語学の教員などの大きな負担になっています。また今回、学期またがりを積極的に認めることにより、学部や学科の枠を超えて授業を取ることが時間割の都合から難しくなるのではないかとの意見もあります。慎重に状況を見極めていきたいと考えています。

8/27 学長懇談会、新三役が学長に挨拶

2019年8月27日11時から12時の1時間、榎野学長と岡山大学職員組合2019年度役員との懇談会を行いました。大学側の出席者は榎野学長、高橋企画・評価・総務担当理事、渡部総務・企画部長、高橋総務・企画部人事課長。組合側からは、大橋委員長、稲垣副委員長、笹倉副委員長、五十嵐副委員長、岸田副委員長、藤原書記長でした。



組合からは、以下の5点について懇談したいとの要望書を出していました。

- (1) 60分・4学期制の改善について
- (2) 教員活動評価の基準と方法について
- (3) 人事凍結について
- (4) 防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度について
- (5) 高等教育無償化について

以下、それぞれの概略について報告します。

(1) 60分・4学期制の改善について

組合からは、①現在検討している改善の問題意識、②教養科目は変更しない理由について質問しました。それらに対する回答は、①については、これからの時代を考えると、60分・4学期制のような時間や形式ではなく、Society5.0社会を見据えてICTを用いた教材の工夫などにより、学修者主体の自律的学習環境の整備が重要だと考えている、②については、教養科目を現状のままにすると決めた訳ではなく、授業の在り方を含めて検討中、とのことでした。

(2) 教員活動評価の基準と方法について

組合からは、①評価項目の削減による評価対象者の労働意欲低下、②評価見直しに対する意見募集期間が長くないことに対する懸念を伝えました。それらに対する回答は、①については、岡山大学が世界と伍す研究大学類型であるため、学長

による業績給に対する評価は、組織目標等を意識したものとするべきと考えている。評価項目は全学共通の厳選した項目とするが、部局長による評価では、分野の特性に配慮し項目を追加できることとしている。②については、すでに多数の意見が集まっており、今後それらを踏まえて検討するつもり、とのことでした。



(3) 人事凍結について

組合からは、①2017年から続いている人事凍結に変化があったか、②採用できる職位の制限やテニユア・トラックが、人事を窮屈にしている場合があることについて質問しました。それらに対する回答は、大学としては、人事凍結は解除しているとの認識。テニユア・トラックは本当に良い人材を見極める手段と考えている。大学の財政事情が大変厳しいので、どうしても採用人数や職位を制限せざるを得ない場合もある、とのことでした。

(4) 防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度について

組合からは、①防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度に対する考えと岡山大学の今年度の申請動向を尋ねるとともに、②同制度への申請の可否判断が、研究担当理事個人の裁量に委ねられていることへの懸念を伝えました。①については、ものごとには多様な側面があるので一律に駄目とかではなく個別の申請に対して判断する。今年度の申請は2件。②については、理事と執行部は情報共有している、との回答を得ました。主要他大学が同制度に申請していない中、本学の申請が全国で突出していることへの違和感は時間の都合上充分伝えることができませんでした。

(5) 高等教育無償化について

組合からは、大学等修学支援法の施行や入学料・授業料免除相当額の予算措置廃止などにより、免除が受けられなくなる学生が生じる懸念を伝えました。大学側もこの問題を認識していました

が、時間の都合上、議論することができませんでした。



今回の学長懇談会では、大学予算が非常に厳しいことや60分・4学期制の問題点については、学長と組合で認識を共有できていると感じました。しかし、それらは前執行部の「負の遺産」という側面であることが否めないことを考慮すると、今後も組合としては、協力すべきは協力すべきものの、おかしなことに対してははっきり物申していく所存です。

無料法律相談『ユニオン』をご利用ください

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも結構です。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：中東靖恵 文学部准教授 内線 7426

あなたも組合の仲間になりませんか？

主な活動：団体交渉、学長との懇談会、
研究科長・各部長・病院長と交渉、
講演会、学習会の開催、
レクリエーション活動、コーラスなど

教職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！一人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合の発言力は大きくなり、よりよい労働条件を実現していくことができます。お申し込みは、各単組役員、もしくは組合事務所で。メールからも、お申し込みできます。

職員組合 ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

フラワーアレンジメント講習会のお知らせ

日時：11月20日(水) 12:10~12:50

場所：一般教育棟A31 (A棟3階)

講師：小田泰子さん(環境理工学部、事務職員)
フラワーアレンジメント講師

参加費：組合員：1000円(お花代、資材代)
非組合員：1500円(お花代、資材代)

*当日の組合加入の方も組合員価格でご参加できます。

*ハサミ(工作用)と、お持ち帰り用の紙袋(ホールケーキ用などの、マチ広で大きめのもの)をご用意ください。

*申し込み：11月8日(金)まで

*お弁当は各自ご用意ください。

*参加希望の方は、組合までメール、お電話、学内便にてお申し込みください。

電話：内線7168 メールアドレス：ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

岡山大学職員組合

お昼のひととき、
お弁当を食べながら、
フラワーアレンジメントを
楽しみましょう



9/24 理学部 2号館南の駐車場利用中止に関する 質問及び要求書の回答について

組合だより 235号に掲載しました理学部 2号館南の駐車場利用中止に関する質問及び要求書に回答が届きました。大学の見解は、「駐車場は不足している状況では無いと認識しています」とのことです。確かに津島キャンパス全体を見れば駐車場に余裕のあるところもありますが、津島キャンパス全体の駐車場のことを理学部の駐車場利用者が必ずしも知っているわけではなく、この見解は駐車場利用者の目線とはかなり違っているように思われます。

また、この件については、駐車場利用中止の通知が大変簡素であったことも問題のひとつと考えています。通知に津島キャンパス内の代替駐車場のマップをつけていれば、利用中止当日の混乱はかなり緩和できたのではないのでしょうか。駐車場探しで時間をとられ遅刻をしたとの話も伺っており、業務に支障を来した事実があることを大学は重く受け止めるべきだと思います。

組合では、この件につきまして皆様の声を集めています。今回の駐車場利用中止について何か思うところがございましたら、組合までお寄せ下さい。

岡山大学職員組合 メールアドレス：ODUnion@mb4.seikyuu.ne.jp

組合からの質問と要求

1. 駐車場の確保について責任を持って対応する部所はどこですか？
2. 今回の件で、駐車場を変更しなければならない教職員が利用できる駐車場が学内に十分に確保されているのか試算されたのでしょうか？ また、試算したのであればその詳細をご回答下さい。
3. 理学部 2号館南の駐車場利用中止による駐車場の不足について対応すること。

大学からの回答

1. についての回答

駐車場の確保については、安全衛生部安全管理課が窓口になります。

駐車場の計画は、状況を鑑みながら、キャンパスマスタープランに基づき計画していくこととなります。

2. についての回答

現在、構内の駐車場は、1,108台分（外来者用 122台分を除く）を確保しており、稼働率は概ね 70～80%で推移していることから、津島キャンパスでは、駐車場が不足している状況ではないと認識しています。

3. についての回答

前述のとおり駐車場が不足している状況ではないと認識しています。

また、現在、工事区域となっている理学部 2号館の建物側駐車場箇所は、工事終了後は元どおり駐車場となることを確認しております。

「憲法公布 記念のつどい」のお知らせ

とき 11月3日(日・祝) 13:30～16:30

ところ 岡山市勤労者福祉センター 5階
岡山市北区春日町 5-6

記念講演「セキララに憲法を語る」

お話 金杉美和さん

参加費 一般 800円(当日 1,000円)

主催 憲法のつどい実行委員会

*チケットは組合(内 7168)まで。組合が半額補助します。



ローカル線で行く！フーテン旅行記

第65回 太宰治のふるさとを走る

ローカル私鉄！ 津軽鉄道

工学部単組 大西孝

「人間失格」「斜陽」「走れメロス」など多彩な小説を発表した太宰治。太宰の出身地は青森県の津軽平野にある小さな町です。今回はローカル私鉄にゴトゴト揺られて太宰治のふるさとを目指しましょう。

青森県の津軽半島南部に位置する五所川原（ごしょがわら）市。秋田県と青森県を日本海に沿って走る五能（ごのう）線の五所川原駅を起点に、津軽半島を北上し、金木（かなぎ）駅を経て津軽中里（つがるなかさと）駅までを結ぶ全長約20kmの小さな私鉄が津軽鉄道です。冬になると石炭ストーブが車内で赤々と燃える「ストーブ列車」が地吹雪の中を走る鉄道として全国的にも有名です。途中の金木町（現在は五所川原市と合併）は太宰治の出身地としても知られており、全国から太宰ファンが訪れます。

五能線の五所川原駅と隣接する津軽五所川原駅の構内には、冬に活躍するストーブ列車の古い客車や真っ黒な雪かき車が留置されており、鉄道ファンの目を楽しませます。岩木山を右手に見てオレンジ色のディーゼルカー、その名も「走れメロス号」はエンジン音も高らかに発車し、津軽平野のど真ん中に躍り出ます。列車はワンマン運転ですが、昼間は案内役として女性のアテンダントさんが乗務しており、優しい口調の津軽弁で車窓風景のアナウンスをしたり、沿線マップを配ったりしてくれます。しかし、地元のお客さんと話をするときの「本気の」津軽弁は、遠来の乗客には極めて難解です。途中の毘沙門（びしゃもん）駅

には、線路を地吹雪から守る防雪林があり、厳しい冬の気候を感じさせます。

列車がすれ違う金木駅では、駅の手前で赤い腕を上下させて駅への進入の可否を運転士に伝える腕木式信号機が鉄路の安全を守っています。腕木式信号機は20年程前までは岡山県の因美線でも見られましたが、今では全国でも金木駅と津軽五所川原駅でしか使われていない貴重なものです。通行手形のタブレットを金木駅ですれ違う列車の間で交換する駅員さんや、数か所に残る「チンチン」と鐘をたたくタイプの踏切など、懐かしい鉄道の光景を存分に味わえます。金木駅の次の駅である芦野公園は桜の名所として有名で、太宰治の幼少期の遊び場でもあったとされています。深郷田（ふこうだ）という面白い名前の駅を出ると、次は終点の津軽中里駅です。この駅は大きな駅舎を持ちますが、入居していたスーパーマーケットは閉店し、残った広い空間は地元の物産品などを売る施設として利用されています。

終点から金木駅へ戻り、太宰治の生家である「斜陽館」へ向かいます。斜陽館は駅から10分ほど歩いたところにあり、「津軽三味線会館」に隣接しています。太宰治は津島家という富豪の家に生まれ、その生家は明治末期に立てられた大邸宅です。この邸宅は旅館を経て、今では太宰治記念館として公開されています。外観は和風建築ですが、建物の中には洋室や洋風の階段もあり、西洋文化を取り入れようとした建設当時の様子を今に伝えます。太宰治が日ごろ使っていた身の回りのものや直筆の手紙なども保存され、熱心な太宰ファンを引き付けています。複雑な人生を送った太宰治ですが、この津軽平野の真ん中でどんな幼少時代を過ごしたんだろうと考えながらの旅も楽しいものです。



金木駅ですれ違う「走れメロス号」。オレンジ色の車体はところどころペンキが薄れていますが、地吹雪の中を走る冬の厳しい気候が偲べれます。



金木駅の手前に立つ腕木式信号機。全国でも津軽鉄道にしか残っていません。赤い腕木が水平の場合「停止」、腕木が下がると「進行」を意味します。



津軽五所川原駅に留置されている古い客車。扉は手動式です。冬場のストーブ列車に使用されるため、それ以外の季節は休んでいます。



金木駅から徒歩10分ほどで斜陽館に着きます。堂々たる和風建築の邸宅ですが、建物の中には洋間もあり、明治末期の雰囲気は今に伝えます。

単組だより

農学部芋ほり会報告

農学部職員組合による恒例の芋掘りが、10月5日(土)に農学部附属山陽圏フィールド科学センターにて行われました。

幸運なことに、当日は過ごしやすい気温の下で実施することができました。今年は例年どおりの参加人数となり、総勢121名(大人68名、子供53名)にて219株の芋掘りを行いました。

今年初めて参加された方から毎年このイベントを楽しみにされている方まで、たくさんの芋を掘り出されていました。小さなお子様と一緒に芋掘りを通して親子のふれ合いを楽しまれ、収穫の楽しさを実感していただけたのではないかと思います。また、例年同様、参加賞として全員にジュースやお茶等、子供さんにはお菓子も提供させていただき、収穫したたくさんの芋と一緒に持ち帰りいただきました。



来年度も秋空の下、ぜひ開催したいと思っておりますので、多くの組合員の皆様のご参加をお待ちしております。



第30回医科系大学教職員懇談会(医大懇)のお知らせ

日時: 11月30日(土) 13時(開会)~12月1日(日) 13時(閉会)

会場: 岡山大学 鹿田キャンパス 記念会館

テーマ: 「安全・安心な医療, 安心して働き続けられる大学病院を」

全体スケジュール

1日目 11月30日(土) 13:00~17:30

・開会集会 13:00~13:30

・記念講演 13:30~15:00

テーマ 「労働関係法を活用し、いきいきとした組合活動を！」

講師 笹山尚人氏 (弁護士 東京法律事務所)

・分科会 15:15~17:30

・交流会 18:00~19:30

2日目 12月 1日(日) 9:30~13:00

・分科会 9:30~12:15

・閉会集会 12:30~13:00

*お申し込みは、組合まで 医学部職員組合(内線) 18-7632 shikataunion@gmail.com

岡山大学職員組合(内線) 7168 ODUnion@mb4.seikyone.jp

みなさま
ご参加ください



クリスマスパーティのお知らせ

日時: 12月10日(火) 19:00より

会場: 岡山市内

内容: ミニ学習会, 合唱, プレゼントなど

参加費: 組合員および家族: 1500円

未加入者: 3000円(有期雇用職員の方及び組合員の紹介がある場合は2000円)

新加入の方は
無料です



*お申し込みは、各単組役員または組合まで(内線) 7168 ODUnion@mb4.seikyone.jp